

北海道雪氷ニューズレター

No.37 2011年1月7日発行

(社)日本雪氷学会北海道支部

内容

1. 北海道支部地域講演会のお知らせ(2月5日)
2. 2011年北海道支部研究発表会の事前案内(5月15日～16日)
3. 支部主催社会貢献事業の案内(雪氷楽会 in ふいゆトピア・フェア)
4. 雪氷災害調査チームの活動報告
5. 北海道支部メーリングリスト(ML)への登録のお願い【重要連絡】
6. 北海道支部50周年記念誌「雪氷研究の系譜」のご利用

1. 北海道支部 地域講演会のお知らせ

「しばれの街・りくべつと南極観測 ―雪と氷が地球環境の謎を解く―」

日本雪氷学会北海道支部では、毎年、札幌以外の北海道各地において、一般市民や雪氷関連技術者等の各方面の関係者に対し「雪氷」に関する啓蒙活動を行うことを目的として「地域講演会」を実施しています。今年度は2月5日～6日に開催される陸別町「しばれフェスティバル」30周年記念行事の一環として、以下の日程で支部講演会を実施します。陸別町は冬の厳しい寒さを利用した「町おこし」事業として、南極ドームふじ深層掘削計画で使用する氷床深層掘削ドリル開発に積極的に技術協力するなど、南極観測と非常に深いつながりをもつ街です。遠路とはなりますが、冬の夜空を観察したり寒さ体験も兼ねて、奮ってご聴講下さいませようご案内申し上げます。

(1) 開催日・場所

開催日：2011年2月5日(土) 15:00～17:00

場所：りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)ホール(北海道足寄郡陸別町字遠別、TEL:01562-7-8100)

<http://c11xfmh.securesites.net/tenmon/>

主催：(社)日本雪氷学会北海道支部

共催：陸別町しばれ技術開発研究所、南極OB会北海道支部

後援：陸別町

参加料：無料 申し込み：不要(直接会場にお越し下さい)

交通機関：札幌→池田(JR約3時間) 経由→陸別(路線バス約2時間)

旭川→北見(JR約3時間) 経由→陸別(路線バス約1.5時間)

札幌(あるいは旭川)からは、ともに朝9時のJR特急に乗車すると14時には陸別に到着することができます。



(2) プログラム

開会挨拶 北海道支部長 高橋修平

挨拶 北海道陸別町長 金澤紘一

りくべつ宇宙地球科学館長 上出洋介

講演会 司会 亀田貴雄(北見工業大学)

>しばれ研との出会い

高橋修平(北見工業大学)

>しばれの街・陸別と南極観測

渡邊興亜(元国立極地研究所長)

>南極ドームふじコアに記録されていた
地球の歴史・宇宙の歴史

藤井理行(国立極地研究所長)

プラネタリウム観望

(希望者 午後5時以降に30分程度、～午後5:30)



満天の星の銀河の森天文台

115cm望遠鏡「火り」

(3) 講演要旨

➤しばれ研との出会い

高橋修平（北見工業大学）

1990年からの北海道陸別町しばれ技術開発研究所との共同研究で実施した深層掘削機開発実験、雪上滑走路造成実験、陸別とシベリアでの気象観測の成果などを紹介する。

➤しばれの街・陸別と南極観測

渡邊興亜（元国立極地研究所長）

しばれの町・陸別と南極観測の関わりについて、国立極地研究所教授として南極観測を実施していた立場から紹介する。

➤南極ドームふじコアに記録されていた地球の歴史・宇宙の歴史

藤井理行（国立極地研究所長）

南極ドーム基地で3035.2mまで掘削された深層氷床コアの解析の結果、この氷床コアには過去72万年間の地球の歴史が保存されていることが明らかになった。ここでは、明らかになった地球の歴史の変動の特徴とともに、この変動に超新星爆発や隕石落下などが関わってきたことなどを紹介する。



陸別での雪上滑走路実験（2005年）



陸別での掘削機
開発実験（1992年）



南極ドームふじでの
深層掘削（1996年）

(4) 当日詳細スケジュールと「しばれフェスティバル」案内

○講演会参加希望者は午後2時50分までに、直接、りくべつ宇宙地球科学館（銀河の森天文台）に集合ください。あるいは、天文台は陸別町中心部から距離があるため、旧陸別駅（午後2時20分集合）→無料送迎車をご利用ください。

○講演会終了後、無料送迎車で「しばれフェスティバル」会場に移動します（フェスティバルは午後6時30分～）。午後8時30分からの花火終了後、懇親会参加希望者は無料送迎バスで懇親会会場（セレモ浜田）に移動、午後9時から懇親会（会費3,000円）に参加ください。懇親会に参加されない方は無料送迎バスで宿泊先までお送りします。

○「しばれフェスティバル」とは、日本一寒い陸別町で厳寒期に実施される日本最寒の祭りです。フェスティバル会場への沿道には、アイスキャンデルが並び、会場には巨大なキャンプファイヤー「命の火」が灯ります。

<http://www10.ocn.ne.jp/~shibare/>

○2月5日（土）に陸別に宿泊される方は、浜田旅館（TEL：01562-7-3175）に各自で予約ください。

しばれフェスティバル参加者の宿泊料金は、5,000円（1泊朝食つき）～6,200円（1泊2食つき）です。

<http://www.rikubetsu.jp/hotel/index.html>

（浜田旅館は、「旅のわが家」がキャッチフレーズのアットホームな旅館です）



(5) 問い合わせ先 北見工業大学社会環境工学科 亀田貴雄

（TEL：0157-26-9506, FAX：0157-25-8772, E-mail：kameda@mail.kitami-it.ac.jp）

講演会ポスター、プログラムは以下のサイトでもご覧になれます（各自印刷の上、当日持参してください）。

<http://www.seppyo.org/hokkaido/poster/2011lec.pdf>

2. 2011年北海道支部研究発表会の事前案内 (5月15日～16日 2日間開催が決定しました)

◆支部研究発表会を活性化させる目的で、例年6月開催(1日間)の支部研究発表会を、2011年度から5月中旬の時期、土曜日曜いずれかの休日を含む2日間開催に変更します。2011年は5月15日(日)～5月16日(月)の2日間、北海道大学学術交流会館での開催となります。

◆来年度から前年度の「北海道の雪氷」掲載論文を対象に、北海道支部として独自に「北海道雪氷賞」を設けます。栄えある第1回目「北海道雪氷賞」は今年度「北海道の雪氷」掲載論文(23編)の中から選考の上、5月発表会で表彰します。北海道らしい「北海道雪氷賞」のネーミングも併せて募集しますので、奮ってアイデアを事務局までお寄せください。

◆詳細内容は次号ニューズレター(3月発行予定)、ML(メーリングリスト)などで正式案内させていただきますが、概要日程は以下の通りです。学生を含む多くの研究者の方々からの投稿をお待ちします。

5月15日(日) 13時～20時(研究発表会、道支部総会、懇親会、北海道雪氷賞の表彰授与など)

5月16日(月) 10時～17時(研究発表会:発表内容次第で、特別セッションなどを設定する場合があります)

3. 支部主催社会貢献事業の案内

2011年平成23年1月21日(金)～1月22日(土)に、日本雪氷学会も後援団体のひとつである2011ふゆトピア・フェア in 札幌が、札幌コンベンションセンターで開催されます。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/fuyutopia/index.html>

この「ふゆトピア・フェア」の同時開催行事として、以下のイベントを実施します。

雪氷楽会(せっぴょうらっかい) in ふゆトピア・フェア～身近な雪を楽しみながら学ぼう!～

(1) 日 時: 2011年1月22日(土) 9時～12時

(2) 主 催: 日本雪氷学会北海道支部、北大 IFES-GCOE 環境教育研究交流推進室、北海道開発技術センター
後 援: ウィンターライフ推進協議会

(3) 会 場: 札幌コンベンション・センター1F(101会議室)及び周辺の公園

(4) 対 象: 小学校高学年(4～6年生)

(5) ねらい: 冬の屋外での授業を通して、①身近にある雪の実験・観察、②雪を通して環境問題を知る

(6) 内 容: 雪の深さ比べ、雪の中の宝探し、積雪の断面観察、雪の結晶観察など

(7) 雪氷関連展示(演示): 1月21日(金)～22日(土)

紙の雪結晶作り・ペットボトルの中での雪結晶成長・ダイヤモンドダストなど

詳細内容は、道支部HPに掲載されていますのでご覧ください。

<http://www.seppyo.org/hokkaido/events/fuyutopia2011>

4. 雪氷災害調査チームの活動報告

(1) 1月17日石狩中部局地豪雪の調査報告書

2010年1月17日の北海道石狩中部での局地的な大雪は、12時間で80cm近くに達し、石狩市から北広島市の一部にかけての道路や鉄道に大きな交通障害をもたらしました。この大雪は狭い範囲に集中し、テレビやインターネット等で入手可能な気象情報では降雪の状況が把握しにくいことが大きな特徴でした。一方、当日は大学入試センター試験と重なったため、多くの受験者が大雪の影響を受けて追試申請者が生じるなど、ニュースで大きく取り上げられました。

日本雪氷学会北海道支部では、災害調査チームを組織し、この大雪のメカニズムを解明し、今後も起こりうる局地的な大雪に対して、関係機関や市民がどのように対処すべきかの提言を度調査報告書にまとめました。ダイジェスト版も同時作成しましたので、参考ください。

<http://glacier.ees.hokudai.ac.jp/snow/modules/kiji/content0009.html>

(2) 富山県・立山国見岳で発生した雪崩調査速報

2010年11月30日午前8時50分頃、山スキーで国見の北東斜面を登山中に雪崩が発生し6名パーティの全員が雪崩に巻き込まれ、2名が死亡、3名が怪我する雪崩事故が発生しました。雪氷災害調査チームでは2010年12月1日～2日に、日本雪崩ネットワーク、(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センターと合同で現地に入り、雪崩事故現場における積雪の科学的調査を行い、その速報を調査チームのHPに報告しています。

<http://glacier.ees.hokudai.ac.jp/snow/modules/bwiki/index.php?%BB%F6%CE%E3%2F2010%2F11-30%CE%A9%BB%B3%CE%3%CA%F8>

5. 北海道支部メーリングリスト（ML）への登録のお願い 【重要連絡！】

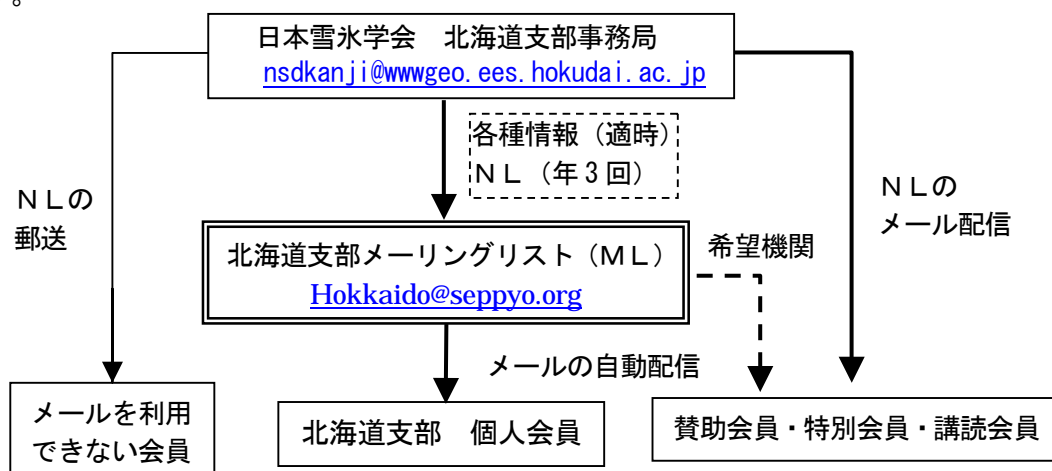
北海道支部ML（Hokkaido@seppyo.org）は、自由参加型で支部会員同士の各種情報交換にご利用いただいておりますが、この度、支部財政が厳しい中、学会コストの節減、及び事務手続きの簡略化を目的に、今後は支部事務局から支部会員あての連絡手段として、北海道支部MLを積極的に活用することになりました。

このため、まだ、北海道支部MLに登録されていない会員の皆様には、MLへの登録をお願いしています。以下のURLにアクセスして手続きをお願いします。

<http://www.seppyo.org/mailman/listinfo/hokkaido>

また、メールアドレスの変更、および学会からの退会の際も同様に手続きをお願いします。なお、北海道支部MLから退会された場合、支部からの連絡・案内が届かなくなりますので、ご了解ください。

但し、メールを利用できない会員の方に限り、ニューズレター（年3回程度定期配信）の郵送での配布は継続します。なお、ニューズレターについては、個人会員は北海道支部MLを通じて配信していますが、賛助会員・特別会員・講読会員については、直接メールで配信を行っています。このため、賛助会員・特別会員・講読会員で、ニューズレターの送付先を変更する場合は支部事務局（nsdKANJI@wwwgeo.ees.hokudai.ac.jp）までお知らせ下さい。もちろん、賛助会員、特別会員、講読会員の各機関の方が、直接、北海道支部MLに登録して下さっても結構です。



6. 北海道支部 50 周年記念誌「雪氷研究の系譜」のご利用

雪氷学会北海道支部は、2009年5月18日に設立50周年を迎えました。これを記念して、2009年9月に50周年記念誌「雪氷研究の系譜 —北海道の雪氷から世界の雪氷圏まで—」が発行されました。これまで、たくさんの方に購入頂きましたが、まだ若干の在庫がございます。

記念誌では、北海道支部に関わる多くの方々への寄稿に加え、各種雪氷マップや統計値データに加え、学校教材にも利用可能な雪氷関連の実験についても掲載しています。原稿やデータを収録したCD-ROMも添付されております。販売価格は3,334円（送料別）となっております。

購入を希望される方は、order.seppyo50@sapporo.jwa.or.jp まで冊数・名前・住所・電話番号を添えてお申し込み下さい（法人購入も可能です）。

記念誌についての詳細は以下のURLをご覧ください。

http://www.seppyo.org/hokkaido/publications/50th_pub

掲載内容は以下のURLからパンフレットをご覧ください。

http://www.seppyo.org/hokkaido/publications/50th_panf.pdf

■事務局からのお願い

ニューズレターの送付先を変更する場合は、新しい送付先を nsdKANJI@wwwgeo.ees.hokudai.ac.jp までお知らせ下さい。またニューズレターや北海道支部の活動に関するご意見があればお寄せ下さい。

（社）日本雪氷学会 北海道支部（HP アドレス：<http://www.seppyo.org/~hokkaido/>）
事務局：〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目 北海道大学低温科学研究所
Tel：011-706-7441 Fax：011-706-7142 E-mail：nsdKANJI@wwwgeo.ees.hokudai.ac.jp
ニューズレター連絡先：〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条4丁目3番20号
（株）ネクスコ・エンジニアリング北海道 外塚信（ニューズレター担当理事）Tel：011-842-3469 Fax：011-842-3274